

令和2年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	福島介護再生臨時特例補助金			担当部局	復興庁		作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官	増田 直樹	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	福島介護再生臨時特例補助金実施要綱 令和2年度福島介護再生臨時特例補助金交付要綱				
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	介護事業者(入所施設及び居宅サービス(訪問系居宅サービス))に対する運営支援のための措置を講じ、既に再開した施設の運営の維持及び震災前に行われていた介護事業の運営を行うことで、避難指示解除区域に住民が安心して帰還できる環境を整える。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1)入所施設【定額】 避難指示解除区域等の介護施設を対象に、長期避難者の受け入れに対応するサービス提供体制を構築することによる緊急的な財政負担の軽減を目的として、特例的に助成を行う。 (2)居宅サービス(訪問系居宅サービス)【定額】 避難指示解除区域の居宅サービスのうち、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、及び訪問リハビリテーションが安定的に供給されるよう、事業の再開を促進することを目的として、特例的に助成を行う。								
実施方法	交付								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		補正予算	-	338	212	149	144		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	338	212	149	144		
	執行額	0	196	173					
	執行率 (%)	-	58%	82%					
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合 (%)	-	58%	82%						
令和2・3年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	福島介護再生臨時特例補助金	149	144	事業内容の見直しにより縮減。					
	計	149	144						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	-								
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績				
	本事業は、避難指示解除区域等の介護事業者に対する運営支援のための措置を講じ、復興・創生期間において、既に再開した施設の運営の維持及び震災前に行われていた介護事業の運営の回復を目指すものであり、経費の必要上、成果として数値で定量的に示すことのできる指標は無いところである。				本事業は避難指示解除区域等の介護事業者に対する運営支援のための措置を講じ、復興・創生期間において、既に再開した施設の運営の維持及び震災前に行われていた介護事業の運営の回復を目指す。				
	代替目標	代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 年度	目標最終年度 7年度
事業の妥当性 を検証する ための代替的 な達成目標 及び実績	避難指示解除区域等で運営 している介護入所施設の維 持・回復	本事業で支援した介護入所 施設等	実績	か所	-	30	集計中	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	本事業で支援した介護入所施設			活動実績	か所	-	3	集計中	-
				当初見込み	か所	-	3	3	

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込
	本事業で支援した居宅サービス(訪問系居宅サービス)事業所	活動実績		か所	-	27	集計中	-
当初見込み			か所	-	23	30		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	単位あたりのコスト=X/Y X:「実績額(百万円)」 Y:「支援した入所施設数」	単位当たりコスト	百万円	-	49	集計中	-	
計算式		X/Y		-	146/3	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	
	単位あたりのコスト=X/Y X:「実績額(百万円)」 Y:「支援した居宅サービス数」	単位当たりコスト	百万円	-	0.4	集計中	-	
計算式		X/Y		-	12/27	-	-	

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	基本目標XI 高齢者ができる限り自立し、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせる社会づくりを推進すること。 施策大目標1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていることができるような必要なサービスが切れ目なく包括的に確保される地域包括ケアシステムを構築すること。							
		施策	介護保険制度の適切な運営を図るとともに、質・量両面にわたり介護サービス基盤の整備を図ること(XI-1-4)							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度	
		実績値		-	-	-	-	-	-	
		目標値		-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	本事業により、既に再開した施設の運営の維持や震災前に行われていた介護事業の運営の回復が図られ、被保険者が必要な介護サービスを利用しながら安心して生活を送ることができ、要介護高齢者等の自立の推進が図られる。									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 -年度	元年度	2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
			成果実績		-	-	-	-	-	-
目標値				-	-	-	-	-	-	
達成度			%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	福島県の要望に基づく事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	福島復興再生基本方針に基づくものであり、国で対応する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	福島復興再生基本方針に基づくものであり、極めて優先度の高いものである。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	避難指示解除区域等に限定した事業である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	介護施設の運営状況が、当初の見込みより改善されたため。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	

仕 関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	被災地における介護サービスの提供のために必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意し、予算の執行を進めること。	
	改善の方向性	被災地における介護サービスの提供のために必要性の高い事業であるため、引き続き効率性に留意し、適正な予算の執行に努めたい。	

外部有識者の所見

ニーズを的確に把握し、効果的・効率的な執行に努めること。また、事業の今後の在り方を検討すること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

被災地における介護サービスの提供のために必要性の高い事業である。引き続き効率性に留意し、予算の執行を進めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

縮減

介護施設、事業所に対して、効果的かつ効率的な支援を行うため、事業内容の見直しを行った。引き続き効率性等に留意し、適正な予算の執行に努めたい。

備考

関連する過去のレビューシートの実績番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	新30 - 0002						
平成31年度	復興庁 (0082)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



